

提出された意見と市の考え方

■計画書の内容に関する意見

No.	該当ページ	提出された意見	市の考え方
1	P85	安全で魅力あるルート設定で、必要に応じてルートの見直しを図りますとありますが、渥美半島1周サイクリングルートは距離が長く高低差も大きいので、「必要に応じて」は削除して、見直しを図りますに変更してください。例えば泉地区はそのまま国道利用にして、蔵王山ルートは無しにして、豊島～六連部分はNCRの道の駅～国道42号線に変更で、20kmぐらいは短縮されます。蔵王山ルートなどは枝線で表記してください。はしってみ輪渥美半島サイクリングルートも見直しを図ってください。	現段階において、ルート変更は考えておりませんので、現行のとおりとします。なお、今後利用状況などを踏まえ必要に応じて見直しを図ってまいります。
2	P85	はしってみ輪渥美半島サイクリングルートの半島一周と渥美半島1周サイクリングルートが別ルートになっているので統一してください。	「はしってみ輪渥美半島サイクリングルート」の半島1周ルートは、2020年3月印刷のリーフレットからルートを見直し、統一した渥美半島1周ルートにしています。
3	P70 P71	中学校の通学路に利用が検討されている県道赤羽根泉港線の向八反田交差点から中村交差点は車道混在になっていますが、歩道も無く道路幅員も狭く路肩の草が生い茂っており、大型車がセンターラインを越えて走行しており危険ですので、歩道整備・道路拡幅等を図ってください。	県道は、愛知県による適切な管理をお願いするとともに「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の考え方に基づく形態により、整備を行ってまいります。
4	P60	日常利用のためのルートへ福江市街地の外環状線（梵木下南線・山田古田線・段土中原1号線）を追加してください。	施策1-1措置①「自転車ネットワーク計画に基づく整備の推進」の参考にさせていただきます。
5	P72	整備優先度について、中学校周辺から順に整備とあるが、通学路には県道・市道とあり、道路幅員・自動車の通行量等あるので、危険性のある箇所から進めてください。	施策1-1措置①「自転車ネットワーク計画に基づく整備の推進」の参考にさせていただきます。
6	P66	危険性の少ない通学路は矢羽根の設置間隔を20mぐらいにすれば整備スピードが早くなるので、設置間隔は見直してください。	施策1-1措置①「自転車ネットワーク計画に基づく整備の推進」の参考にさせていただきます。 進捗を図る取組として、田原市の整備形態の検討(P.69)では、自転車歩行者道のある通学路において、観光利用・日常利用を設定するルートは、矢羽根の設置間隔を100m程度までとしています。
7	P58 P60 P70 ～ P72	自転車通学するのは中学生だけではなく、高校生もいるので歩道のない県道豊橋渥美線の堀切～保美区間等も優先的に整備してください。	施策1-1措置①「自転車ネットワーク計画に基づく整備の推進」の参考にさせていただきます。 当該区間の優先整備については、愛知県に対し要望してまいります。

■その他（計画書に反映せず要望・意見として取扱う意見）

No.	該当ページ	提出された意見	市の考え方
1	—	はしってみ輪渥美半島サイクリングルート の伊良湖ルート の初立ダム周辺は鬱蒼と している ので整備して、名称を伊良湖一周に してください。また伊良湖サイクリング マップとルートを統一してください。	施策2-4措置②「携帯可能で分かり易い ルートマップの作成」の参考にさせていた だきます。
2	—	はしってみ輪渥美半島サイクリングルート の赤羽根地区は、トンネルを利用せずに、 赤羽根～和地～福江～石神～赤羽根の大山 一周の名称で短縮ルートとしてあつみ大山 トンネルを記載してください。別にあかば ねロコステーション～サンテパークたはら ～太平洋ロングビーチを赤羽根地区のルート にしてください。	施策2-4措置②「携帯可能で分かり易い ルートマップの作成」の参考にさせていた だきます。
3	—	NCRの道の駅への分岐点である南神戸駐 在所前交差点の隣の公園を、駐輪場・トイレ ・日除け・ルートマップ等のある休憩施設 にしてください。	施策2-3措置②「いつでも休憩できる環境 の整備」の参考にさせていただきます。
4	—	堀切バス停は自転車利用者が多くいるの で、駐輪場を設けてください。	施策1-2措置①「自転車と他の交通との連 携」の参考にさせていただきます。
5	—	赤羽根地区の高校生の利用する県道田原高 松線の高松北交差点周辺だけ歩道がないの で歩道の整備を図ってください。	ご指摘の歩道未整備区間は、現在、愛知県 による歩道設置事業が進められています。
6	—	自転車は段差に弱いので、例えばあつみ大 山トンネルのある市道土田伊川津線の豊川 用水・新堀川の橋梁のコンクリートと路面 のアスファルトとの段差や、道路を横断す る側溝と路面の段差、マンホール・消火水 栓等と路面の段差など、坂でスピードの出 やすい場所の段差の洗い出しと解消を図っ てください。	施策1-1措置①「自転車ネットワーク計画 に基づく整備の推進」の参考にさせていた だきます。

7	—	<p>『はしってみ輪 渥美半島コース』のサイクリングの実施</p> <p>1. 提案動機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在田原市には、自転車で走って安全で気持ちの良いがサイクリングマップ『はしってみ輪 渥美半島コース』としてありますが。実際にその道を走行すると迷ったりする事もあり。遠方や初めての人にはあまり優しくないと感じました。 <p>2. 提案内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コースを熟知した人をリーダー（最小は先頭、後尾に各1名）にして一般から参加を募集し小規模のサイクリングの実施。 <p>頻度：1回/月又は、2回/月 定期的または年間スケジュールが利用者には親切と思います。</p> <p>リーダー、案内人：</p> <ul style="list-style-type: none"> *田原市に住んでいるサイクリスト *人選は私も含めご協力致します。 <p>3. 期待する効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田原市へ観光客増加 ・サイクリスト（自転車人口）増加 	<p>施策2-5措置②「サイクリングツアー開催等による地域活性化への誘導」及び措置③「サイクリストへの満足度向上」の参考にさせていただきます。</p>
8	—	<p>高齢者の自動車から自転車への転換促進</p> <p>1. 提案動機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨今、高齢者による自動車の操作ミスによる事故が絶えません。一方、田原市も一般交通機関では不十分な高齢者が多くみえます。 ・高齢者が健康によい安全な自転車に乗り換えて元気に暮らして欲しい。 <p>2. 提案内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車の運転免許を返納した高齢者が、自転車の取り換える際の施策を提案します。 <p>【施策案】</p> <p>① 自転車（電動自転車含む）を購入する際の補助</p> <p>② 主要道路への自転車優先道明示（青色等で塗り分け）</p> <p>（ご参考）</p> <p>私の義父は、現在88歳ですが運転免許証を返納後は、電動自転車で毎日元気に田原市内の用事は自分で走っています。</p>	<p>施策1-2措置①「自転車と他の交通との連携」の参考にさせていただきます。</p>

9	—	<p>サイクリストのどんぶり街道等の市内飲食店への誘致</p> <p>1. 提案動機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング中は、大変おなかが空きますので食料補給は大変大切です。また楽しみでもあります。どんぶり街道加盟店で、サイクリストに人気のところもあります。サイクリストと市内の飲食店の双方が喜ばれる施策を提案します <p>2. 提案内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 飲食店にサイクルスタンドの設置（補助） ② サイクルリストに食事割引（消費税10%位割引）などの特典 ③ サイクリスト用の新メニュー開発（新規メニューにより活性化） ④ 飲食店の種類別（デザート系、和食、洋食、中華、麺類）を色分けして判り易くして走ってみるマップとの関連づける） 	<p>施策2-3措置②「いつでも休憩できる環境の整備」、施策2-4①「サイクリストが必要な情報の提供」及び施策2-5③「サイクリストへの満足度向上」の参考にさせていただきます。</p>
10	—	<p>国道42号線は狭い2車線の道を自転車も走るので、自動車・自転車が共存できるように、自動車を運転する人が、サイクリングをする人に優しくしてくれるよう、市民・来訪者に広報・啓発をして欲しいです。また市民の意識が『サイクリスト優先』になれば、日本一サイクリストに優しい町になれると思います。</p>	<p>施策1-3措置①「自転車安全利用に関する広報啓発の充実」の参考にさせていただきます。</p>

11	—	<p>NCR指定要件を満たすためにプランのハード面は急速に整備が進んでいますが、ソフト面の受け入れ態勢が進んでいません。その一つに訪れた方に不測の事態が起こった時への対応です。例えば自転車のパンクや破損によって走行不可能とってしまった時の走行への復帰や帰路への手助けといった人的サービス。渥美半島には自転車の整備が可能な事業所が少なく出張サービスも行っていない。そこで軽トラックや作業用のトラックを所持し、フレキシブルに動くことのできる方をお願いしてボランティア団体としてサポート体制を組織してはいかがでしょうか。また、田原市はその組織の金銭的支援や安全な運営を指導することができればよいと思います。</p> <p>また、サイクルラック設置などのサイクルツーリストの受け入れ態勢も整えたほうが良いかと思います。設置の予定はあるかと思いますが、田原市が自転車を通したまちづくりを推し進め、全国的に他の地域に先んずるためにはラックの設置予定数を中期計画で示す必要があると思います。自転車が増えてきたから増やすのではなく、受け入れ態勢が整っているから人が訪れるのだと思います。</p>	<p>施策2-3措置④「自転車のトラブルや緊急時の対応環境」及び施策2-3措置②「いつでも休憩できる環境の整備」の参考にさせていただきます。</p>
12	—	<p>自転車が車道を通る際に、歩道との境の部分の雑草や砂などが自転車の走行の妨害になっている場所がかなりあります。グリップを失い転倒や事故の原因になることもあるので、継続的に何か対策が必要ではないかと思います。</p>	<p>施策1-1措置②「適正な維持管理」及び施策2-5措置①「官民連携によるサイクリング環境の水準維持等の継続的な取組体制の整備」の参考にさせていただきます。</p>
13	—	<p>フェリー乗り場⇔田原駅を走ったときに目標物が少なく道が分かりにくかったので看板を設置してください。</p> <p>自転車道が入り組んでてわかりにくかったです。</p>	<p>施策2-2措置③「ルートにおける走行環境整備」の参考にさせていただきます。</p>
14	—	<p>フェリー乗り場で輪行しなくては高くなるので輪行をしたいがそれ用の場所が確保されていないので少しやりにくいので自転車の組み立てなどができるステージみたいな物を作って欲しいです。</p>	<p>施策2-3「サイクリストのニーズに対応した受入環境の整備」の参考にさせていただきます。</p>
15	—	<p>万が一自転車がトラブルが起きてしまった時に休める場所も込めてカフェなどと連携して工具や自転車置き場を作って欲しいです。</p>	<p>施策2-3措置②「いつでも休憩できる環境の整備」の参考にさせていただきます。</p>

16	—	田原駅に自転車の休憩所があれば嬉しいです。 田原駅の自転車での乗車の仕方がわかりにくかったので看板などでお知らせして欲しいです。	施策2-3措置②「いつでも休憩できる環境の整備」の参考にさせていただきます。令和2年度中に乗車位置などを明示することに取り組みます。
17	—	普段は自転車に乗ることはありませんが、以前県内の他市で乗る機会がありその時思ったのは、どこを走行してよいのか？と悩みながら自転車に乗りました。 標識はあったのかもしれませんが、走行しながらだととっさに見にくく不安な気持ちになりました。できれば、市内あちこちの道に自転車マークが書かれていたらと思います。	自転車に関するガイドラインを参照し自転車ピクトグラム（自転車デザイン記号）を路面に明示していきます。
18	—	自転車道がもっとほしい	施策1-1措置①「自転車ネットワーク計画に基づく整備の推進」の参考にさせていただきます。
19	—	堀切以外の自転車道への案内看板が、42沿いだけでなく、もっと奥に欲しい	施策2-2措置③「ルートにおける走行環境整備」の参考にさせていただきます。
20	—	本屋やyoutubeを見て、分解・組み立て・修理などをしてみようと思うがよくわからない。教えてくれる場所や機会があると助かります。	施策2-5措置③「サイクリストへの満足度向上」の参考にさせていただきます。
21	—	以前日出にあったような、休憩所が日出に欲しい。前にあったものほど立派なものではなくていいので	施策2-3措置②「いつでも休憩できる環境の整備」の参考にさせていただきます。
22	—	サイクルルートがわかるマップがあると助かります。	サイクルルートマップは作成しており、市のホームページや市役所、道の駅などで入手可能です。施策2-4措置②「携帯可能で分かりやすいルートマップの作成」を参照してください。
23	—	国内だけでなく海外に発信できるよう環境整備をお願いします。	施策2-4措置①「サイクリストが必要な情報の提供」の参考にさせていただきます。
24	—	オフロードトライアスロンを大きな大会に育ててほしいです。	施策1-6措置③「サイクルスポーツの振興」の参考にさせていただきます。
25	—	伊良湖から小中山にかけての10000m道路の案内標識（ブルーライン等）の設置 残距離の標識があると嬉しいです。	施策2-2措置③「ルートにおける走行環境整備」の参考にさせていただきます。
26	—	サイクリングロードの日出付近復旧 砂の撤去。 ・サイクリングロード42号等道路上の草刈り等環境整備。	施策1-1措置②「適正な維持管理」の参考にさせていただきます。
27	—	渥美総合体育館裏山のMTB使用できるような環境整備。	施策1-6「サイクルスポーツ振興の推進」の参考にさせていただきます。
28	—	三河田原駅から伊良湖までトラブルが起きた際の解決手段（豊鉄バスを輪行可能にする等）。	施策2-4措置④「自転車のトラブルや緊急時の対応環境」の参考にさせていただきます。
29	—	・赤羽根ロコステーションから日出まで休憩場的施設がコンビニしかないので水分補給のできるポイント設置。	施策2-3措置②「いつでも休憩できる環境の整備」の参考にさせていただきます。

30	—	・259号線 高木から泉小学校付近まで道幅狭いため堤防沿いへのルート案内がほしい。	海岸堤防への誘導は管理者協議の結果認められておりません。
31	—	・海外の方にもわかる名所の案内版（英語表記を増やす等）走っている際合っている？とよく聞かれます	施策2-4措置①「サイクリストが必要な情報」の提供の参考にさせていただきます。
32	—	自転車の周知・認知度アップのため、レンタサイクルの充実度を上げてほしい。スポーツツーリズムとしてロードバイク、MTB、クロスバイクなど体験できる機会を観光客だけではなく市民も身近に体験できるといい。レンタサイクルに子供サイズがないため、家族で一緒に体験ができないのは問題である。子供サイズのレンタルバイクも導入してほしい。	施策1-2措置①「自転車と他の交通との連携」、施策2-1措置②「地域振興への誘導・市民生活質向上への寄与」及び施策2-3措置①「多様な交通手段に対応した受入環境整備」の参考にさせていただきます。
33	—	・田原市内を自転車で走ることの魅力は海や農村風景など自然豊かな景観が素晴らしいが、起伏が少なくどこまでもフラットな道路もこの地ならではのポイント。自転車初心者に焦点を絞ったアピールもぜひ進めてほしい。	施策2-4措置①「サイクリストが必要な情報の提供」の参考にさせていただきます。
34	—	・コロナ禍の自転車ブームに乗じて市民の自転車活用が進むこと、また自転車を通じて市外からの関係人口を増やし、地域発展のため自転車活用のための様々な活動を市としてもサポートしてほしい。	本計画に基づき自転車活用を推進していきます。
35	—	自分はマウンテンバイクに乗っているのですが田原市には山道（民地や私道ではない）やコース等がないため市外へ出かけ遊んでいる現状があります。今ほとんど活用していない伊良湖休暇村の一部、渥美総合体育館の元パターゴルフ場跡地ともう少し手を加えたら人が呼べるコースができると思います。おそらく自分が知らないだけで田原市内にはまだまだ多くの有効利用できる土地があるのかなと感じています。42号や259号線の自転車道の整備等行い、マウンテンバイクコースがありという条件が揃えばたくさんの県外、市外の方が田原市には来てくれるのではと考えています。	施策1-6措置②「誰もがサイクリングを楽しめる環境の創出」の参考にさせていただきます。